

	放射線療法 (俗に：ラジエーション)	外科手術、抗がん剤治療とともに、がんに対する主要な治療法の一つ。放射線が生物の細胞を攻撃する作用を利用しているが、この作用は細胞分裂の盛んな細胞に対して効果が大きく、分裂の盛んながん細胞により大きな影響を与える。放射線ががん細胞のみならず正常細胞にもダメージを与える一面があるものの、がん細胞はダメージに対する回復能力が乏しいため放射線の分割照射は、正常細胞がダメージから回復する時間を与えて行われ、ダメージから回復できないがん細胞だけを死滅させる。
	訪問栄養指導	医師の指示に基づいて患者さん宅を訪問し、療養上必要な栄養・食事についての助言や指導を行う。 付記(ケアポイント) 通院が困難な患者 530単位(特別食要件ある。施設入所者除く)
	訪問介護	ホームヘルパー等が自宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活相談、助言、その他必要な日常生活上の世話を行う。 付記(ケアポイント) がん・褥瘡の認定看護師同行：1285単位 退院前訪問指導：555点
	訪問看護	医師の指示に基づいて定期的に訪問をし、医療的処置・日常生活のケア・状態観察・家族への介護支援・助言や指導・メンタル面のフォロー等を行う。
	訪問歯科診療	患者さんの状態に応じて定期または随時訪問をし、義歯製作や調整・虫歯治療・歯周治療・口腔ケア・ブラッシング指導等を行う。 付記(ケアポイント) 口腔ケアは、通院が困難な患者(同一建物の場合は別点数) 訪問診療：850単位(一人に20分以上の診療)
	訪問歯科衛生指導	歯科医師の指示に基づいて、歯科衛生指導を行う。単なる歯磨き指導に留まらず、食事摂取が継続できるよう様々な助言や指導を行う。 付記(ケアポイント) 複雑360単位(1対1で20分以上かけた指導) (同一建物の場合は別単位)
	訪問診療	通院困難な患者さん宅や老人施設へ、定期的に訪問して行う診療。
	訪問入浴介護	移動入浴車で、家庭を訪問し、入浴の援助を行う。
	訪問薬剤指導	医師の指示に基づいて患者さん宅を訪問し、処方されている薬剤の管理や正しい服薬方法等の助言や指導を行う。 付記(ケアポイント) 退院時共同指導料：600単位 在宅調剤加算：10単位 在宅患者訪問薬剤管理指導：500単位(同一建物以外)
	訪問リハビリテーション	医師の指示に基づいて定期的に訪問をし、リハビリを提供する。単なる機能訓練に留まらず、在宅における生活の質の維持・向上を目指す。
	ホスピス	ターミナル(終末期)ケアを専門に行う施設、または在宅で行うターミナルケアのこと。 付記(ケアポイント) 在宅の場合は、痛み止めを上手に使いコントロールができる在宅医が必要。独居でも、“在宅にいたい”という強い思いと、様々なサービスを利用することによって可能。
	ホルモン療法	各種症状に対して、ホルモン剤あるいはホルモンの分泌を促進または抑制する薬剤を用いる治療法の総称。ホルモン療法は、がん細胞そのものを攻撃して殺す治療ではなく、あくまで発育を阻止してコントロールするのが特徴で、補助療法として手術や化学療法に併用されている
ま	看取り	無益な延命治療をすることなく、自然の過程で死に逝く人を見守るケアをすることで、家族と共に病人の傍らにいて看病をし、死期まで見守ること。病院での看取りは医療従事者が行うが、自宅での看取りは家族が行う。 付記(ケアポイント) 訪問診療を受けている利用者が、病気の経過で自宅で看取りを行うことは違法ではありません。医師法では、診療継続中の患者が、自宅で死亡した場合、24時間以内に診察をしていれば、異常がない限り死後診察を行わなくても死亡診断書の記載ができます。24時間を超えた場合でも、生前に診察をしていた傷病が死因と判定できれば死後診察を行えば死亡診断書はかけます。最期の時が近いと判断した場合は、医師・訪問看護師に早めに情報提供をしましょう。目安は、別紙の「在宅での看取りを希望されるご家族の方へ」を参照してください。
	モニタリング	ケアマネジャーが、ケアプランに基づき実施したサービスについて、提供されたサービスが適切かどうか、計画に基づいて提供されているかなどを、利用者と提供者の双方から情報を収集する。継続的に観察・管理・評価して、必要時にはケアプランの見直しを行うこと。
や	要介護認定	日本の介護保険制度において、被保険者が介護を要する状態であることを、保険者である市町村が認定するもの。
	要介護度	被保険者の介護を必要とする度合い。軽い順に、要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5の7段階の介護度が設けられている。介護がどれだけ必要な状態なのかを、調査や主治医の意見をもとに決められている。
ら	ラジエーション	放射線療法の項目参照。